

# 令和4年度事業報告

社会福祉法人 信楽福祉会

## 社会福祉事業

### (1) 第1種社会福祉事業

特別養護老人ホーム「信楽荘」

経過的小規模特養	定員30名
ユニット型特養	定員60名

### (2) 第2種社会福祉事業

(イ) 老人デイサービス事業「信楽荘デイサービスセンター」

通常型通所介護 (月～金曜日)	定員30名
--------------------	-------

(ロ) 老人短期入所事業「信楽荘ショートステイサービス」

定員15名

(ハ) 認知症対応型共同生活介護「グループホーム笑楽」

定員2ユニット18名

## 公益事業

(1) 信楽荘居宅介護センター

# 令和4年度 社会福祉法人 信楽福社会 事業報告

## 基本理念

1. 誰もが住み慣れた地域の中で、安全かつ安心して普段と変わらない、その人らしい生活が続けられるような憩いの場を提供します。
2. 家族や地域の方々にサポートしていただきながら、ご利用者の立場にたち、プライバシーや基本的人権を配慮しながら、その人らしい自律した社会生活が送れるよう温かいサービスの提供を目指します。

## 信楽荘

### 「信楽荘 理念」

#### Welfare しがらき 共に笑い 共に生きる

信楽荘に関わる全ての「人」にとっての幸福・繁栄・快適な生活の実現をめざし、その理念に沿った事業活動を信楽発で行います。

### 「信楽荘 職員の心構え」

1. 私たちは、「思いやり」のある「温かい心」で介護に努めます。
1. 私たちは、「謙虚な姿勢」で「誠意ある質の高いサービス」に努めます。
1. 私たちは、「専門職」として「技術の向上」をめざし最善を尽くします。
1. 私たちは、「愛され」「親しまれ」「信頼される」施設をめざします。

基本的理念を達成するため「職員の心構え」を全員が周知徹底し、職員のモラルの向上を図り利用者へのサービス向上に努めます。



項目4 入居者・家族との信頼関係の構築					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
入居者の希望に沿ったイベントの計画・開催	○		○		利用者のニーズを聞きながら、イベントを開催した。”食”のイベントが多くなってしまったことが課題。	○		○	
月に一回、家族への手紙の送付	○	○	○		毎月、写真を添えて手紙の送付を行った。	○	○	○	
定期的な家族への電話連絡		○	○	○	電話連絡を徹底することができなかった。		△	△	△

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
4月・・・花見ドライブ	○		○	○	<p>コロナクラスターの発生もあり、計画通りに行事の開催はできなかった。”食”に関する行事が多く、その他の行事を行っていくことが今後の課題として挙げられる。開催した行事に関しては、利用者の声を聴きながら、希望に沿えるものを考え、企画・実施した。</p> <p>3月には、海鮮丼・手巻き寿司の選択形式の行事を開催した。お一人お一人に選択していただける、意思決定支援を心掛けたイベントを今後も計画していきたい。</p>
5月・・・食事作り	○		○		
6月・・・七夕準備・おやつ作り	○		○		
7月・・・ユニット内バーベキュー	○		○		
8月・・・花火・スイカ割り	○		○		
9月・・・ユニット内夏祭り	○		○		
10月・・・焼き芋・文化祭作品作り	○		○	○	
11月・・・文化祭・紅葉ドライブ	○		○	○	
12月・・・クリスマス忘年会(鍋会)	○		○		
1月・・・新年会・正月遊び	○		○		
2月・・・豆まき・恵方巻作り	○		○		
3月・・・ひな祭り	○		○		

令和 4年3月3日作成

令和 5年4月30日作成

今年度目標	今年度目標
利用者、家族、関係事業所に安心・信頼されるショートを目指す	
<b>基本方針</b> 「信楽町内でショートはこしかないから嫌々利用する」ではなく、「信楽荘のショートを利用して良かった」と思っただけのように努力する。利用者、家族が在宅生活を望まれる状況において、ショートとしてできる限りの支援を行う。	<b>報告</b> 継続的に在宅での生活を実現するために、ご利用者やご家族の意向を確認し、他サービスでの関わり方も聞きながら、最善の対応に努めた。ご相談・ご意見いただいた内容については、職員間で共有し改善・工夫に努めた。

項目1					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
生活の質の向上									
塗り絵、脳トレ、動画体験等、利用者が選択するものの提供	○		○		選択して頂けたが、選択肢に限りがあった。何もしたくないという方については無理はせず、積極的な方については要望の提供を行った。塗り絵カレンダーについては毎月楽しみにおられる方も多い。コロナ警戒のため声を出すレクを避けていたが、今後再開できれば充実すると考える。	△		△	

項目2					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
情報共有と課題検討									
定例会議の実施	○		○		1人でも多く参加できるよう工夫していた。	○		○	
出勤時・業務間の申し送りと共有	○		○		それぞれが意識して共有に努めた。	○		○	
家族、関係事業所への情報提供 (ショートだから見える部分や連携が必要な内容)		○		○	主にリーダー(相談員)により情報提供に努めた。		○		○

項目3					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
ニーズ把握とサービスの質の向上									
利用者家族へのアンケートを実施と、その結果に対する検討	○	○	○	○	コロナの影響により実施できなかった。	×	×	×	×

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
4月：花見ドライブ	○		○	○	1年を通して、コロナ対応(サービス提供中止と併設入所へのフォローも含む)に追われる状況であり、計画通りとはいかなかった。そんな状況でも、希望される美味しいおやつを工夫して提供するなど楽しむこともできた。コロナ対応緩和により、来年度は今年度よりも楽しい行事を提供できるように努めたい。
10月：紅葉ドライブ	○		○	○	
12月：クリスマス会	○		○		
2月：節分・豆まき	○		○		
食事会(不定期)	○		○		
おやつ作り(不定期)	○		○		

令和 3年 3月 3日作成

令和 4年 5月 1日作成

今年度目標	今年度目標
健康と安心感到満ちた心温まる日々の提供	健康と安心感到満ちた心温まる日々の提供

<p><b>基本方針</b> 入居者が「ここに居てよかった」をコンセプトに、健康と安心感到満ちた心温まる日々を提供します。そのためには、入居者一人ひとりの可能性を信じ、生活意欲が高まるよう図り、入居者、家人と職員が共に歩んでいけるようにベストを尽くし、信楽荘理念及び心構えに沿って生活をサポートする。 良きところを惜しみなく取り入れ、是正、改善を行い、サービス提供に努める。</p>	<p><b>報告</b> 今年度は新リーダーへ移行を行い、新たな体制下でサービスの提供を行った。 旧リーダーが掲げた「ここに居てよかった」をコンセプトに、コロナ禍で制限された状況かつ、職員が非常に少ない状況に於いて、最も大切なものは何か？理念を念頭において、常に課題を探り果敢に向き合うことが出来た。</p>
---	--

項目1 生活の質の向上					項目1 生活の質の向上				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
コロナ感染拡大する中で、新しい生活様式を取り入れたレクリエーションを企画・実施する	○		○		ケーキ作り・節分祭など比較的四季に応じた企画を実施できた	○		○	
みんなで知恵を絞り出し、インドアな計画だけでなく、外出など企画・実施する	○		○	○	コロナ禍で外出が制限されていたが、前庭でセミや鈴虫の音を感じ、春には桜観覧することができた	○		○	○
部屋で休まれている方も、リビングで過ごされている利用者さんと同じようにコミュニケーションを図る。	○	○	○		部屋で過ごされる利用者さんに関しては十分とはいえない状況だった				

項目2 課題の共有・改善					項目2 課題の共有・改善				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
認知症の進行、食事低下など、困難な状況に立ち向かうべく、ユニット内で常に情報の更新を行う	○	○	○		様々な認知症の症状において疾患を個別に考察して対応する能力を十分には発揮できなかった				
改善を行うために、検討だけでなく、評価を行い、そのケア等が妥当なものなのか精査する。	○		○		検討はできたが、その後の評価や継続有無についての十分な検討はできなかった				

項目3 ここに居てよかったと思われる生活環境の提供					項目3 ここに居てよかったと思われる生活環境の提供				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
普段の利用者さんとの関わりから趣味嗜好を探る。	○	○	○		少ない情報からでも話を聞き少しでも趣向を探ることができた	○	○	○	
月1回の手紙だけでなく、電話連絡を行い密に家人との連絡を行う			○	○	手紙や心配される家人さんには昨年度よりもサポートすることができた	○	○	○	
居室清掃を1週間に1回実施。シーツ交換時または担当職員が行う。業務に組み込み清掃するのか、担当職員が行うのか検討していく。	○	○	○		正職・非常勤の勤務時間等を上手く考慮することでシーツ交換は抜けなく出来たが部屋掃除は十分ではなかった				
生活をサポートする職員は部内外研修や自己研鑽を行い、常に知識、経験を活かして最良のサービスを提供する	○	○	○		本来であれば専門職でもある職員は自己研鑽して知識などを豊かにすべきだが十分にはできなかった				

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
4月…花見、ドライブ、水口祭	○	○	○	○	<p>昨年からコロナ感染状況は日々増え、緊急事態宣言など生活などは制限された、外出、家人さんとの面会も十分にできなかった。 しかし、四季に応じたレクリエーションや季節に応じた日光浴や花見(車窓から)は少しではあるが実施できた。 一度実施したレクリエーションを今年度は更にみんなで知恵を絞り、アップグレードして来年も楽しいレクリエーションが出来るよう、課題を抽出できたので、来年度の対策をして対応する。</p>
5月…外食・おやつ作り	○		○	○	
6月…ドライブ・おやつ作り	○		○	○	
7月…花火	○		○	○	
8月…ユニット内バーベキュー	○		○	○	
9月…外出	○	○	○	○	
10月…焼き芋・県外ドライブ	○		○	○	
11月…紅葉ドライブ・文化祭	○		○	○	
12月…クリスマス会(ケーキ作り・プレゼント交換)	○		○	○	
1月…初詣・外出	○	○	○	○	
2月…節分(豆まき)・外出	○		○	○	
3月…ひなまつり・外出	○		○	○	

令和4年3月1日作成

令和 5年 4月 30日作成

今年度目標	今年度目標
一斉一律のケアでなく自由な暮らしの支援ができることを目指す。	一斉一律のケアでなく自由な暮らしの支援ができることを目指す。
<b>基本方針</b> 入居者が後悔しない暮らしを続けられる場所にします。 自分のことを理解してくれる人に介護されたいと想う方達の「理解してくれる職員」になります。 職員が「介護が楽しい」と思える場所にします。	<b>報告</b> 可能な限り入居者様の要望を否定せず応じることができた。 今後も視野を広げ入居者に寄り添い支援をしていきたい。 各職員に何気なしに入居者と関わるのではなく入居者一人ひとりを生活歴や想いを知り関わることもできた。

項目1 課題を改善するため情報を共有し、取り組み、振り返りを行う					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
特変事項は詳細に記録へ残し、必要に応じて関係者へ連絡をしたり、話し合いを行う。		○	○	○	特記事項の連絡、報告はできたが記録抜けがあり今後は抜けのないよう手順を決めていくようにする。	○	○	○	
ユニット会議で課題を取り上げ、解決策を探り取り組む。1ヶ月間の業務や取り組みに対する振り返りを行い、次の1ヶ月に繋げる。			○		感染予防のためユニット会議はできなかつがノートを利用し意見交換や提案をすることができた。			○	
会議だけでは共有できない日々のささいなことやアイデアなども相談・伝達ノートや業務日誌を活用して、気軽に情報を共有する。			○		ノートを利用し日々の情報を共有することができ今後も継続していきたい。			○	

項目2 心身機能の維持					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
活動しやすい環境づくり	○		○		自立の方がフロアで過ごすことが増えた。	○		○	
動く時間を増やし生活の活発化を図る	○		○		可能な能力を抑制せず最大限まで活かした。	○		○	
感情に働きかけるコミュニケーションの実施	○		○		入居者が自発的に言葉を発することが増えた。	○		○	
行事やイベントだけでなく「天気がいいから散歩したい」「家族と話したい」など“今このときにしたいこと”をできるだけ実現し、意欲の活性を図る。	○		○		入居者の要望を家族に伝えたり声を聞きたいときには電話で声を聞いてもらえたりと満足度は高かったと感じる。	○		○	

項目3 個性に対する配慮と支援					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
これまでの生活を理解しその状態に近づけられるように、対応できる施設サービスの活用	○	○	○		家族に生活歴などを確認し合わせる、近づけることができた。	○	○	○	
認知症に伴った一見すると不可解な行動なども、その人の個性あるメッセージと理解し、訴えを見逃さないケアを行う。	○		○		本人を否定せず原因、理由を検証し対応に活かすことができた。	○		○	

項目4 職員の資質向上					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
外部研修、職場内研修の参加			○		リモート中心に参加することができた。			○	
部署内独自の研修の実施と参加			○		感染防止のため簡易的な形となった。			○	
必要に応じて、相談、面談を行う。			○		随時、相談や意見を聞くことができた。			○	
職員の個性も大切に「こんなサービスをしてみたい」がカタチになるよう応援できるチームをつくる			○		どんなアイデアでも試験的に実施し上手いといったものを継続に繋げることができた。			○	

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
花見、誕生会	○		○		<p>毎月の誕生会は感染防止のため個別に職員と少人数の入居者でお祝い季節の行事はユニット内で入居者に季節を知らせると共に肌で感じてもらうことができた。感染対策のため外出は控えユニット内で入居者の脳の活性化に繋がる季節の行事に力を入れた。</p> <p>来年度は入居者の世代に合わせた行事や取り組みを行い生活意欲の向上や脳の活性化を図る。</p>
森林浴、誕生会	○		○		
外食ドライブ、誕生会	○		○		
七夕、流しソーメン、誕生会	○		○		
夏祭り、誕生会	○		○		
居酒屋、誕生会	○		○		
外食ドライブ、誕生会	○		○		
紅葉ドライブ、焼き芋、誕生会	○		○		
クリスマス忘年会、誕生会	○		○		
初詣、お茶会、誕生会	○		○		
節分、居酒屋、誕生会	○		○		
ひな祭り、梅林散策、誕生会	○		○		



令和 4年 3月 3日作成

令和 5年 4月 1日作成

今年度目標	今年度目標
家族や他部署からみて「楽しそう。」と思ってもらえるようなユニットに	

<p><b>基本方針</b>                  信楽荘理念の「共に笑い、伴に生きる。」という部分を重視し、周りの色んな方々からみて「青空ユニットは楽しそうだな。」「青空ユニットで働いてみたい。」と思ってもらえるようなユニット作りを目指す。                  「楽しそう。」と思ってもらうには、入居者の方々、職員が楽しめるような行事、働きやすい環境等が必要となってくるので、その部分を重視していく。</p>	<p><b>報告</b>                  「青空ユニットは楽しそうだな。」と周りから見られたかはわからないが、職員の人事異動もあり、以前よりは確実に明るい雰囲気になった。ただ足りない部分は多く、来年度はもっと職員、利用者ともに明るい雰囲気が出るように努めていく。</p>
--	--

<b>項目1 全員楽しめるように。</b>					<b>項目1</b>				
<b>計画内容</b>	利用者	家族	職員	地域	<b>評価</b>	利用者	家族	職員	地域
月に一回以上の室内レクリエーションの実施 誕生日プレゼントの予算を上げ、プレゼントの質を上げる。	○		○		最初は定着せず、質が上がらず、プレゼントの量だけが増えていた時期もあったが、徐々に職員も理解し、利用者に少し質の良いものを贈れるようになった。来年度も継続したい。	○		○	
月一回のレクリエーションとは別に、3ヶ月に一回(季節ごと)の外出行事	○		○	○	職員が不足しており、外出は3回しか行けなかった。来年度は4回以上行けるように勤務を調整したい。			△	×
日常のコミュニケーション(挨拶) 誰にでも自分から、気持ちの良い挨拶		○	○	○	全員が出来ているわけではなかった。職員により偏りが大きい。		○	○	

<b>項目2 情報共有・課題の改善</b>					<b>項目2 課題の共有・改善</b>				
<b>計画内容</b>	利用者	家族	職員	地域	<b>評価</b>	利用者	家族	職員	地域
勤務交代時の申し送り、月一回の情報発信。 必要であれば、ユニット内で会議	○		○		申し送りは各ユニットではなく、1丁目と2丁目を同時に行うことにより、職員に多く参加してもらうことが出来、より密に行えた。			○	
年に一度は全員、必要時に個人面談			○		必要時には行えたが、勤務が変則なこともあり、なかなか時間が合わないことも多かった。			○	

<b>項目3 最良の最期を迎えてもらうために</b>					<b>項目3</b>				
<b>計画内容</b>	利用者	家族	職員	地域	<b>評価</b>	利用者	家族	職員	地域
積極的な外部・内部研修への参加をし、 新しい知識をつけてもらう。			○		職員が不足しているため、早出から遅出の長時間の勤務が多く、研修には積極的に参加できなかった。充足すれば、是非参加してもらいたい。			△	
日々の入居者との関わりから、趣味嗜好を探り、よりよい居室、空間を提供できるようにする。	○	○	○		設えを得意とする職員が他部署に異動してしまったので、年度の後半は特に出来ていないことが多かった。			△	
日々の体調の変化を家族様に手紙で伝える。 希望があれば、最期と一緒に迎えてもらえるように、環境を整える。	○	○			最期の瞬間を一緒に過ごしてもらうことは出来なかったが、2名の入居者に青空ユニットで最期を迎えてもらった。家族様にも感謝してもらえた部分は良かった。	○	○	○	

<b>年間行事計画</b>	利用者	家族	職員	地域	<b>年間行事計画 評価</b>
4月 お花見ドライブ、おやつ作り	○		○	○	全体的に職員が不足している時期が多く、実施できなかった行事がたくさんあった。フロアパートナーは充実している日、時間帯はあるので、来年度はそういう日に実施していきたい 「今月は人がいる日(常勤の多く勤務している日)がないから出来ない。」という声が多く聞かれたが、そういう状況の中でも利用者に楽しんでもらえるような行事を考えていく必要がある。
5月 ピクニックランチ	○		○		
6月 紫陽花ドライブ、おやつ作り	○		○	○	
7月 花火大会	○		○		
8月 夏祭り(居酒屋)	○		○		
9月 ピクニックランチ	○		○		
10月 焼き肉会	○		○		
11月 紅葉ドライブ、おやつ作り	○		○	○	
12月 忘年会(居酒屋)	○		○		
1月 おやつ作り	○		○		
2月 豆まき	○		○		
3月 町内ドライブ、おやつ作り	○		○	○	

令和 4年 3月 1日作成

令和 5年 4月 1日作成

今年度目標					今年度目標				
入居者様の一人一人のペースに合わせて介護していく。					入居者様の一人一人のペースに合わせて介護していく。				
基本方針					報告				
信楽荘の理念のもと、共に笑い伴に生きるを実現して行くために基本に帰り、入居様が何処まで出来るか、できないか？を見極めながら一人の個別ケアを実践していく。					普段の生活の中で、利用者一人ひとりの能力を把握しながら役割を持った生活の提供を心がけてきたが、コロナ禍でやれる事に制限が多かった。また、一人ひとりのアセスメントがまだまだ不十分と感じた。				
項目1 入居様をもっと知って行く。					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
月一回の定例会議で入居様の情報交換	○		○		2ヶ月に1度の定例会議を開催し、情報交換を行った。	○		○	
職員と入居様との関わりを増やしていく。	○		○		業務の中で時間を見つけ、利用者さんとの会話を心がけた。	○		○	
モニタリングの活用と現状の把握。	○		○		モニタリングより利用者の変化を早めに把握し、その都度話し合いをした。	○		○	
メルタスでの情報の発信・共有(連絡ノートの活用)	○		○		連絡ノートの活用をしながらも、メルタスでの発信を少しずつ増やしていった。	○		○	

項目2 苦手分野の克服					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
2ヶ月に一回で医療的な勉強会や介護勉強会等を定例会議に組み込んで行く			○		コロナで開催できない付きもあったが、勉強会を開催。			○	
報連相の徹底	○		○		連絡ノートや業務はじめの申し送りの中で利用者さんの情報を確認した。	○		○	
記録の確認の徹底。	○		○		利用者さんに関わったときにその都度記録をしていくことを心がけた。	○		○	

項目3 情報の公開					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
家族様に入居様の現在の生活の報告を月一回、手紙で送る。	○	○	○		月に1回、利用者の様子と写真を送った。	○	○	○	
家族様がペット等を持ってきてくださった際に報告する。		○	○		コロナ禍で、事務所での受け取りが多く、なかなか家族に情報を伝える機会がなかった。		○	○	

項目4 地域との連携					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
2ヶ月に一回の運営推進会議にて報告。	○	○	○	○	コロナ禍で書面だけになることもあったが、開催時には報告を行った。	○	○	○	○
地域の行事に参加。	○		○	○	コロナ禍で、地域の行事に参加することができなかった。そのような中で地域との結びつきをどのようにしていくかが課題。				
年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価				
4月 お花見イベントやドライブ	○		○		コロナ禍や人員不足などで、できなかったイベントもあったが、利用者さんに楽しんでもらえるよう、行事を行う機会を設けてきた。また、季節を肌で感じてもらえるように、ドライブなどの機会も多く作った。ただ、個々の利用者さんのADL、認知機能に合わせた行事の開催については、まだまだ課題もある。イベントの中で本人の能力を活かし、利用者一人ひとりのやりたいこと、行きたいことを実現できるように計画をしていきたい。				
5月 新緑ドライブや地域イベントへの参加	○		○	○					
6月 あじさい見学 ドライブ 信楽荘創立記念日	○		○	○					
7月 陶器祭り 花火	○		○	○					
8月 GH夏祭り 花火大会 黄瀬区納涼祭参加	○	○	○	○					
9月 信楽荘敬老祝賀会 雲井学区体育祭	○		○	○					
10月 コスモス畑へのドライブ GH運動会	○		○						
11月 信楽町・黄瀬文化祭の出展及び参加 紅葉ドライブ	○		○	○					
12月 クリスマス忘年会 餅つき	○		○	○					
1月 初詣(枚:日雲神社)	○		○						
2月 節分 豆まき 恵方巻作り	○		○						
3月 ひな祭り	○		○						



令和4年 3月14日作成

令和5年4月30日作成

今年度目標	今年度目標
利用者様の在宅生活を維持できる様、地域のサービスを広げる	利用者様の在宅生活を維持できる様、地域のサービスを広げる

<b>基本方針</b> 利用者様の在宅生活を基本とし、利用者及び家族に寄り添い傾聴し、利用者様自身の自律した生活を送れる援助をしていく。	<b>報告</b> いつも在宅生活を意識し支援してきました。利用者や家族の話の傾聴もしつつ、利用者自身の自律した生活を送るサポートは出来たと思います
---	---

項目1 利用者の生活の質の向上と維持					項目1 利用者の生活の質の向上と維持				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
サービスを適切に提供できる	○	○	○		必要なサービスは提供できました	○	○	○	
利用者の生活の質を維持している	○	○	○		できる限り生活の質の維持を考えて対応しました	○	○		
利用者に必要なアセスメントができる	○	○	○			○	○		
利用者からの苦情等が無く丁寧に対応する	○	○	○		事業所の連絡不足で、小さな苦情が数件あり	△	△		
不足している在宅サービスを開拓していく	○	○	○	○	開拓はしていきましたが、それでも不足です	△	△	○	○
介護・医療関係サービス事業所との連携を図る			○	○	連携は常に図れています			○	○

項目2 社会福祉法人信楽福祉会職員としての関わり					項目2 社会福祉法人信楽福祉会職員としての関わり				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
信楽荘内の行事などに協力する			○		信楽荘内の行事などに協力はしました			○	
信楽荘職員同士の協力ができる			○		信楽荘職員同士の協力は極力しました			○	
信楽荘の理念に基づき意識して行動する	○		○		常に理念を念頭に置きながら行動しています			○	

項目3					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域

項目4					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
<b>年間行事計画</b>	利用者	家族	職員	地域	<b>年間行事計画 評価</b>				
甲賀市長寿福祉課の年度初めの事業案内			○	○	令和4年度は、年間の県、甲賀市、及び信楽町地域包括の行事や研修に関しては、積極的に参加はできたと思いますが、居宅全員の研修、出張等は不足していたように思いますが、信楽地域内での事例検討会や研修会にはできる限り参加することができました。 ケアマネジャーの本来業務である利用票配布、提供票配布、担当者会議開催についてはコロナの影響もあり対面では難しい面もあり苦労しました。				
その他介護支援専門員に関する出張、研修			○	○					
信楽地域内での事例検討会及び研修会参加			○	○					
信楽荘での行事に参加、協力	○	○	○	○					
毎月の利用票配布、提供票配布、担当者会議開催	○	○	○	○					

令和4年 2月 26日作成

令和 5年 4月 30日作成

今年度目標	今年度目標
入所者の方がその人らしく、健康で楽しく暮らせるように医療面からサポートする。	
<b>基本方針</b>  入所者の日常の観察・情報収集・情報の共有を行い、疾病の早期発見に努め他部署・嘱託医との連携を持ち早期対応が出来るよう務める。	<b>報告</b> コロナ感染者がある中での観察、他部署、嘱託医との連携は初めての事であったが出来る事を模索しながらではあったが出来たように思える。看護師内での感染を防ぐ事を第一に考え脱落者を少なく出来た事が良かった。他部署との連携も密に行えた。その他の疾患に対しては嘱託医に相談し受診、対応を行った

項目1 必要に応じた受診、入院に関わる情報提供					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
救急車要請			○	○	5件			○	○
受診付き添い			○		受診者151名 入院者26名 永眠者16名			○	○

項目2 急変時の迅速な対応、適切な処置					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
褥瘡交換	○		○		殿部より踵の褥瘡が多く委託医の指示のもと毎日処置を実施	○		○	○
コロナ、ノロ、インフル感染の対応	○	○	○	○	コロナ抗原検査の実施にて早期発見に努めた。コロナ感染で1名の入院者あり。	○	○	○	○
日々の軟膏処置等	○		○		掻痒感、湿疹がある方が多く毎日軟膏塗布をした。	○		○	
インシュリン注射	○		○		7~8名のインシュリン実施	○		○	
家人への説明、ムンテラ(看取りを含む)		○	○		嘱託医と相談の上、随時実施した。		○	○	○

項目3 健康管理を行う					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
健康診断の実施	○		○	○	年に1回、在籍中の利用者全員の健康診断を行った。	○		○	○
コロナ、インフル予防接種の実施	○		○	○	利用者、職員の希望者に実施。	○		○	○
1回/週の嘱託医による回診	○		○	○	月4回の回診実施	○		○	○
入所者108名、ショート利用者の内服、外用薬管理			○		各ユニット毎に月1回の仕分け。ショート利用者の持参薬の整理を行った。			○	
インシュリン注射の実施	○		○		インシュリン及び血糖測定の実施。	○		○	
ターミナルの充実	○	○	○	○	他部署との連携を密にしその人らしい最期を迎えられるよう努めた。	○	○	○	○

項目4 医療、看護に関する職員のスキルアップ					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
施設内職員研修への参加			○		WEB研修の参加は出来ていたと思う。			○	
施設外研修			○	○	コロナ禍の為難しかった。			×	○

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
健康診断	○		○	○	
インフルエンザ予防接種	○		○	○	
コロナワクチン接種	○		○	○	

令和 4年 3月 16日作成

令和 5年4 月 24日作成

今年度目標	今年度目標
食を通して美味しく楽しく笑顔になれるお手伝い	おいしいと言って下さる方が沢山おられてやりがいに繋がっている

基本方針 口から美味しく楽しく五感で満足していただける食事提供	報告
利用者一人ひとりの身体状態に配慮した食事の提供	旬の食材や四季のメニューで季節を味わってもらえた。日々の体調変化に応じてその人に合った食事提供ができた

項目1 安全でニーズに合わせた食事	項目1
計画内容	利用者 家族 職員 地域
利用者の食事状態、体調に合わせた食事の提供	○ ○ ○ ○
食中毒感染予防の徹底	○ ○ ○ ○
衛生管理に注意して適温で提供	○ ○ ○ ○
栄養管理に基づいた食事提供	○ ○ ○ ○
栄養ケアマネジメントモニタリング作成	○ ○ ○ ○
夜間厨房内殺菌機設置	○ ○ ○ ○
	毎晩作動中

項目2 食事を通じたコミュニケーション	項目2
計画内容	利用者 家族 職員 地域
旬の食材を使った献立作成	○ ○ ○ ○
行事食の工夫	○ ○ ○ ○
変化に富んだ食事提供	○ ○ ○ ○
おひさまカフェ、出張調理の開催	○ ○ ○ ○
毎日の各ユニットへのラウンド	○ ○ ○ ○
フェイスブックの活用	○ ○ ○ ○

項目3 課題の共有・改善	項目3
計画内容	利用者 家族 職員 地域
日々のミーティング	○ ○ ○ ○
給食会議、厨房会議	○ ○ ○ ○
研修会	○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○

項目4	項目4
計画内容	利用者 家族 職員 地域
	○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○

年間行事計画	利用者 家族 職員 地域	年間行事計画 評価
おひさまカフェ(毎月)	○ ○ ○ ○	おひさまカフェ、出張厨房はコロナの影響で数回しかできなかったが、毎日のおやつは手作りで提供し、四季折々の食事献立で季節感が出せた。コロナクラスター時対応では、厨房内除菌スプレーなどでの除菌、ふらわあへの食事提供では、毎食使い捨て容器での提供、昼食夕食での使い捨てお弁当箱に盛り付け提供、粥などは、使い捨て丼容器、水分補給などは、飲みきりサイズのお茶、ジュース、珈琲牛乳など飽きが来ないように工夫しました。
手作りおやつ	○ ○ ○ ○	
出張厨房	○ ○ ○ ○	
季節の行事食(おせち、節分、ひな祭り)	○ ○ ○ ○	
敬老会、創立記念、クリスマスなど	○ ○ ○ ○	



令和 4年 3月16日作成

令和 5年 4月 8日作成

今年度目標	今年度目標
やりたいことが実現できる信楽荘の実感を深める	やりたいことが実現できる信楽荘の実感を深める

<p><b>基本方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•昨年度はコロナ禍の中、企画室活動のうち、案件を絞って、取組を進め、事業計画・報告書の書式の作成、委員会の再編を完了した。新年度は企画室メンバーの更新も行き、信楽荘の委員会やイクボス活動とも連動した”理念に沿ったやりたいことが実現できる信楽荘”をテーマに活動に取り組む。</li> <li>•企画案件のアーカイブ(保管庫)としての役割は継続中、さらに整理・取り出しやすよう、移行を進める。</li> </ul>	<p><b>報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•企画室会議(全8回開催)、コロナ対応で中止した月あり。</li> <li>•新委員会の活動フォーマット作り、委員長会議は、一定の効果を上げたと考えている。</li> <li>•オンラインイベントについては、面会、会議、研修については積極的にツールを活用し、扱える職員も増えた。体外・広報的な活動(ビデオ制作)については、今年度はほぼ活動できず。(企画室員から賛同を得られなかった)</li> <li>•企画室に新メンバーを迎え、現状の信楽荘の課題、企画室の役割等の議論を進めたところ、業務改善や人材育成・定着についての話が中心で、対外的な企画や地域貢献的な活動の話ができる余裕がない。企画室も人材育成の場と捉え、理念実現の為の中・長期計画が立てられる方向へ活動を継続していきたい。</li> </ul>
---	--

項目1 委員会の新体制移行へのサポート					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
スムーズな委員長引き継ぎ、委員会の役割・指針の再作成・周知・経過観察					<ul style="list-style-type: none"> <li>•委員長を選任し、委員長会議を招集し、各委員会の活動計画・中間報告・年度末報告とイベントを設け、活動の見える化を進め、今までにない挑戦する活動が増えている。</li> <li>•広報誌の紙面変更は好評である。</li> <li>•SIグランプリも今回利用者さんの投票形式を採用。</li> <li>•コロナ対応で停滞した委員会もあったが、それでも、当初の計画と比較しての振り返りができるようになり、経年の活動に役立つと考えている。</li> </ul>				
	△	△	○			○	○	◎	

項目2 コロナ禍でも開催できるイベントの企画、体制づくり					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
オンライン、撮影企画の制作、開催	○	△	○	△	企画室にて、企画をプレゼンしたが、今年度室員の合意が得られず、今年度は実施せず。	×	×	×	×
ビデオ会議の活用			○		ZOOM会議やLINE面会等、積極的に利用し、設備環境や使用方法についても習熟が進んだ。一部ハイブリッド会議も実施した。	○	○	◎	○
youtubeチャンネルの制作	△	△	○	△	企画室にて、企画をプレゼンしたが、今年度室員の合意が得られず、今年度は実施せず。	×	×	×	×

項目3 イクボス活動の推進・支援					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
イクボス推進担当との連携・支援			○	○	コロナ禍で研修も中止になり、活動進められず。奥嶋副施設長が市の行事には参加継続できている。			△	△

項目4 企画の案件管理・保管					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
企画データの整理・管理			○		企画案件管理、議事録について、アイデアは出たが、まだ実現できていない。			△	
新たな企画の案件登録、支援			○					△	



# 令和4年度 事業別実績報告

特別養護老人ホーム 信楽荘

令和5年6月1日

## 1、総括

### 2、年間入所(利用者)者数 (R4.4.1~R5.3.31)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
種別													
延人数	3,177	3,167	3,086	3,284	3,198	3,131	3,266	3,117	3,175	3,129	2,805	3,139	37,674
利用人数	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	1,296
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均人員	105.9	102.2	102.9	105.9	103.2	104.4	105.4	103.9	102.4	100.9	100.2	101.3	103.2
入所者数	1	2	1	1	2	2	2	0	2	0	1	2	16
退所者数	2	1	0	2	1	2	1	1	2	2	3	0	17
入院者数	23	52	73	28	90	86	66	70	29	79	152	152	900
1日当り平均人員	0.8	1.7	2.4	0.9	2.9	2.9	2.1	2.3	0.9	2.5	5.4	4.9	2.5
空床数	110	137	85	162	34	88	22	39	74	61	53	22	887
1日当り平均空床	3.7	4.4	2.8	5.2	1.1	2.9	0.7	1.3	2.4	2.0	1.9	0.7	2.4

### 3、信楽荘施設全体職種別職員数 (R5年3月31日現在)

職種 形態	施設長 管理者	副施設長	事務長	課長	管理職 合計	総務	介護支援	生活	看護師	介護員	管理	調理員	業務員	職員 合計	
						事務	専門員	相談員	機能訓練指導員	栄養士					
施設全体(SS含)	正職	1	1	1	3 (兼務)	6	4	2 (2人兼務)	2	5 (1人兼務)	39	1	7	62	
	パート								6 (1人兼務)	22		2	2	26	
デイサービス	正職	1 (兼務)			1 (兼務)	1		1 (1人兼務)	2 (1人兼務)	5				6	
	パート									2			4	6	
グループホーム	正職	1 (兼務)			1					7				7	
	パート						2		1 (1人兼務)	9				11	
居宅支援	正職	1 (兼務)			1 (兼務)	1		4 (1人兼務)						4	
	パート							1						1	
合計		4	1	1	5	11	4	8	2	12	84	1	9	6	148

## 4、年間行事実施内容

別紙の通り

## 5、各種職員研修および会議、介護体験・ヘルパー・介護福祉士養成学校実習受入、

施設交流訪問、各種慰問等ボランティア、各種奉仕、荘内会議・委員会、

別紙の通り

## 6、その他

# 令和4年度 事業別実績報告

## 1、小規模特養(従来型多床室) [定員:30名]

令和5年6月1日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員数	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
延べ人員	929	897	855	912	879	869	902	900	895	835	753	859	10,485
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均人員	31.0	28.9	28.5	29.4	28.4	29.0	29.1	30.0	28.9	26.9	26.9	27.7	28.7
稼働率(%)	103.2	96.5	95.0	98.1	94.5	96.6	97.0	100.0	96.2	89.8	89.6	92.4	95.7
利用金額(万円)	1,132	1,162	1,108	1,174	1,137	1,166	1,193	1,194	1,182	1,113	996	1,138	14,022

## 2、ユニット型特養 [定員:60名]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720
延べ人員	1,746	1,792	1,724	1,834	1,769	1,740	1,828	1,742	1,734	1,736	1,548	1,722	20,915
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日当り平均人員	58.2	57.8	57.5	59.2	57.1	58.0	59.0	58.1	55.9	56.0	53.4	55.5	57.1
稼働率(%)	97.0	96.3	95.8	98.6	95.1	96.7	98.3	96.8	93.2	93.3	89.0	92.6	95.2
利用金額(万円)	2,558	2,627	2,536	2,701	2,542	2,585	2,718	2,596	2,588	2,593	2,304	2,561	31,164

## 3、ショートステイ [定員:15名]

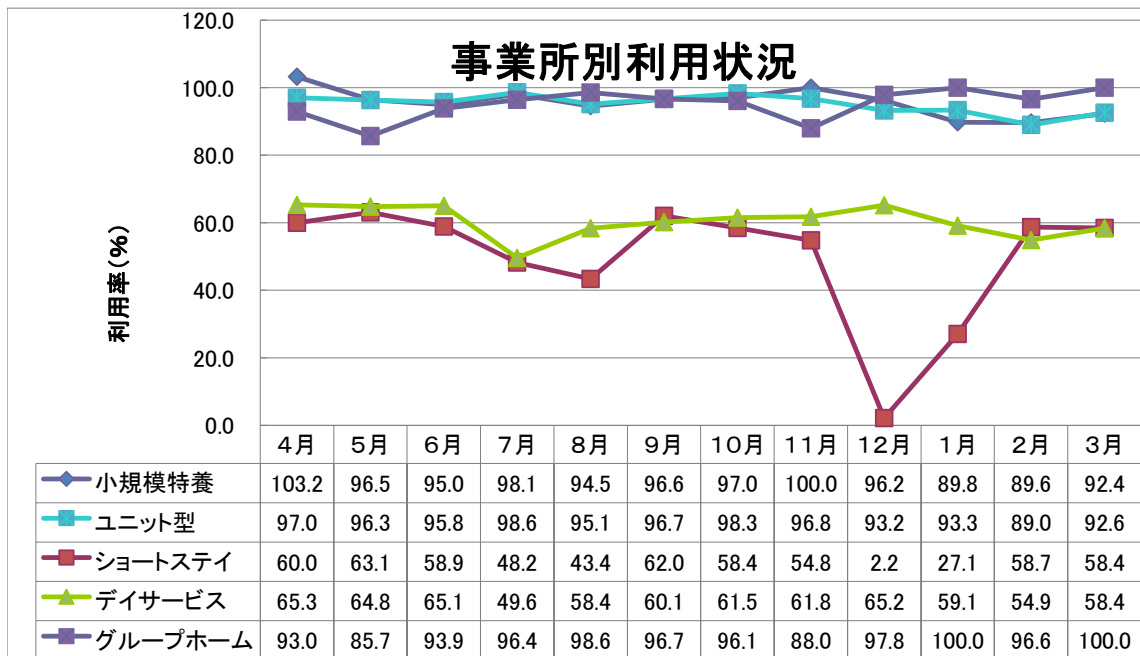
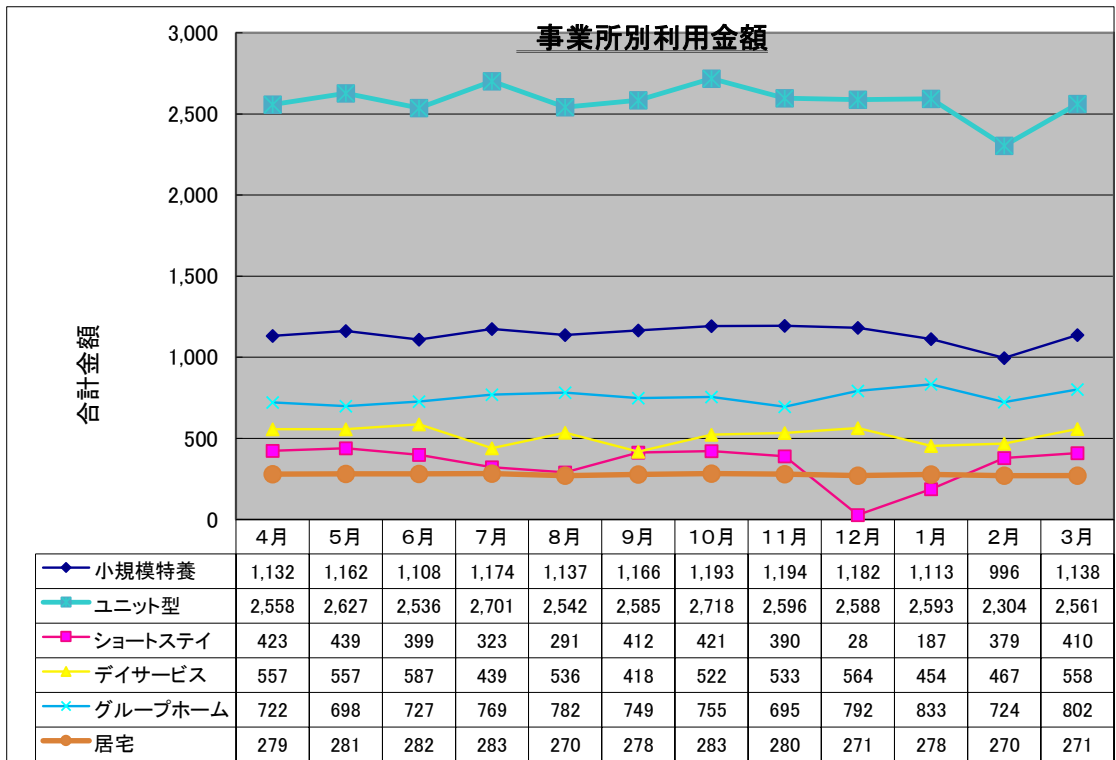
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人員	324	352	318	269	242	335	326	296	12	151	296	326	3,247
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均人員	10.8	11.4	10.6	8.7	7.8	11.2	10.5	9.9	0.4	4.9	10.6	10.5	8.9
稼働率(%)	60.0	63.1	58.9	48.2	43.4	62.0	58.4	54.8	2.2	27.1	58.7	58.4	49.4
利用金額(万円)	423	439	399	323	291	412	421	390	28	187	379	410	4,138

## 4、デイサービス(通常型) [定員:30名]

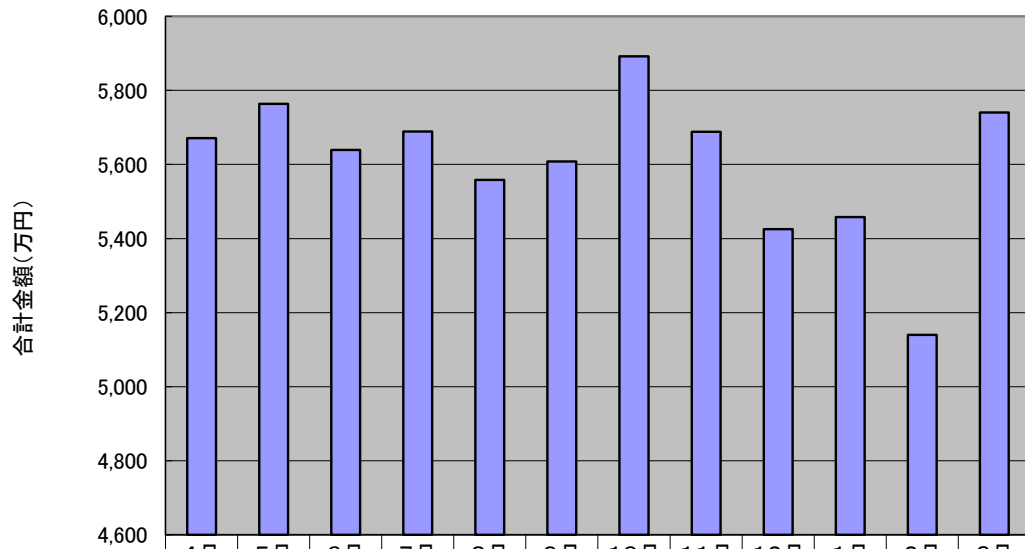
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人員	480	499	501	382	470	463	452	476	479	393	384	470	5,449
当月日数	21	22	22	22	23	22	21	22	21	19	20	23	258
1日当り平均人員	22.9	22.7	22.8	17.4	20.4	21.0	21.5	21.6	22.8	20.7	19.2	20.4	21.1
稼働率(%)	65.3	64.8	65.1	49.6	58.4	60.1	61.5	61.8	65.2	59.1	54.9	58.4	60.3
利用金額(万円)	557	557	587	439	536	418	522	533	564	454	467	558	6,673

## 5、グループホーム [定員:18名]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
延べ人員	502	478	507	538	550	522	536	475	546	558	504	558	6,274
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日当り平均人員	16.7	15.4	16.9	17.4	17.7	17.4	17.3	15.8	17.6	18.0	17.4	18.0	17.1
稼働率(%)	93.0	85.7	93.9	96.4	98.6	96.7	96.1	88.0	97.8	100.0	96.6	100.0	9124
利用金額(万円)	722	698	727	769	782	749	755	695	792	833	724	802	9,124



### 信楽荘事業収入全体実績



■合計金額(万円)	5,671	5,764	5,639	5,689	5,558	5,608	5,892	5,688	5,425	5,458	5,140	5,740
-----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

### 事業所別収入実績

